

## 平成29年度 沼田市地域公共交通会議会議録

- 1 日 時 平成29年6月20日(火) 13時52分～14時25分
- 2 場 所 沼田市役所北庁舎 4F 中会議室
- 3 出席者 五十嵐会長 外委員12名(別紙のとおり)
- 4 会議の概要

傍聴者なし。会議の結果は、沼田市公式ホームページ上で公開することについて確認。

定足数については委員14名中、12名出席であり、会議は成立した。

### (1) 協議事項

#### 1) 沼須線の「地域内フィーダー系統確保維持計画」について

##### ①計画内容(「資料」1～7ページ)

今年度は国庫補助に係わる要項の改正が遅れ、通常4月には改正された要綱が示されていたが、今年度に関しては6月に示された。要綱では国庫補助に係わる計画を6月末までに提出することとされているが、改正要綱と同日に示された事務連絡により、今年度については、8月末まで延長された。今年度については、要項の改正時期が不透明だったため、6月末の提出を見据え、この時期に会議を招集させていただいた。先の事務連絡をふまえ、8月末までに計画を提出したいと思うので、ご承知おきいただきたい。

地域内フィーダー系統確保維持計画については、地域公共交通の確保・維持・改善のために、国庫補助の認定を受けるための計画。沼田市においては平成27年度に新設した「沼須線」がこれに該当し、運輸局から計画の認定を受けている。計画には3ヶ年の目標を記載しているが、補助金交付要綱の定めにより、年度ごとに計画の見直しと事業評価を行い、沼田市地域公共交通会議での審議が必要となるため、委員の方はご承知おき願いたい。

沼須線について、運行経路に変更はなし。運行時刻については、平成29年3月4日付のJRの時刻改正に合わせ、改正を行った。沼田市委託路線の中では1, 2を争う利用者がおり、通院など日常生活に欠かせない路線となっているため、路線の定着・維持に努め、交通弱者の移動手段を確保する必要がある。

計画を提出後、関東運輸局等との調整で表現などが若干変更になることもあるのでご承知おき願いたい。

【1）沼須線の「地域内フィーダー系統確保維持計画」について質疑応答】

委員：資料として配られたチラシのMAP部分は沼田女子高校が作製したのか。

事務局：沼田女子高校の美術部と文芸部にご協力頂いた。

委員：どのくらい作製したのか。また、残りはあるのか。適宜補充しているのか。

事務局：28,000部作製し、沼田駅などの観光客利用が想定される場所や公共施設に設置して適宜補充している。

委員：わかればいいのだが、沼須線は保健福祉センター止まりの便があるが、そこから先の利用者はどの様に移動しているのか。

委員：移転前の利根中央病院に徒歩や自転車で通っていた人は保健福祉センター前のバス停利用を想定している。乗り継ぎについては、つかめてはいないが、他路線でも保健福祉センターが終点であったり、通過するので乗り継ぎへの配慮はされている。

2) その他

沼須線だけではないが、市内の全路線について、群馬県交通政策課と連携し、勉強会を開催している。その中で現在の問題点を洗い出し、路線再編も含めて検討を行っている。もし、路線再編等行う場合、この場で審議していただく事になるかもしれないので、よろしく願いたい。

【2）その他について質疑応答】

委員：現在の進捗状況は。

事務局：第1回の勉強会を開催済み。今月第2回の勉強会を開催し、問題点等を洗い出す予定。月1回程度開催する予定。

委員：バスカードの解析を行うと聞いていたが、どの様な状況か。

事務局：優先的に迦葉山線の解析などを行っている。

委員：まだ結果は出てこないか。

委員：データを解析中であり、次回の勉強会ではお示しできるのではないかと。その他アクセシビリティ評価表という机上でのバス利用シミュレーションを行っている。

委員：交通だけ切り出していてもなかなかうまくいかない。まちづくりの観点も含め、検討していかなければと思っている。もう少し広げると高齢者の健康作り、高齢になっても歩いて暮らせるまちづくりも必要。そういったことを含め、総合的に市としても対応していきたいと考えている。地域の交通手段であ

る公共交通を交通弱者や高齢者からも使いやすく、使い勝手のいい運行を多角的に検討して行きたいと考えている。

〈協議結果〉

- 1) 沼須線の「地域内フィーダー系統確保維持計画」について及び2) その他について質疑応答の後、諮った結果、異議なく原案のとおり承認された。